

◎国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定

(略称) 国連大学本部協定

昭和五十一年 五 月 十四 日 ニュー・ヨークで署名  
 昭和五十一年 五 月 二十四 日 国会承認  
 昭和五十一年 六 月 二十二 日 受諾書寄託  
 昭和五十一年 六 月 二十二 日 効力発生  
 昭和五十一年 六 月 二十二 日 公布及び告示

(条約第七号及び外務  
 省告示第一二八号、  
 第一二九号、第一三  
 〇号)

目次

前文	六七九
第一 条 定 義	六七九
第一 項 用語の定義	六八〇

国連大学本部協定

第二条	本部施設	六八〇
第二項	本部施設の不撤去及び大学の会合	六八〇
第三項	政府の寄与及び本部施設の維持管理の責任分担	六八一
第四項	別個の取極で取り扱う研究研修センター又は計画	六八二
第三条	本部施設の法的地位	六八二
第五項	本部施設の地位	六八二
第六項	不可侵権	六八二
第四条	本部施設の保護	六八三
第七項	政府の保護措置	六八三
第五条	本部施設に対する公共サービス	六八三
第八項	公共サービスの提供に関する政府の努力義務	六八三
第六条	通信及び出版	六八三
第九項	公用通信の特権及び免除	六八三
第十項	公的刊行物の出版権等	六八四
第七条	課税の免除	六八五
第十一項	直接税の免除及び間接税に対する適当な行政的措置	六八五
第八条	財政的便益	六八五
第十二項	通貨の保持、勘定の設置、通貨の移動等	六八五
第九条	社会保障	六八六
第十三項	強制的抛出の免除、大学の要請に対する政府の措置等	六八六

第十條	通過及び潜在	六八七
第十四項	公務のための入国等に対する政府の措置	六八七
第十一條	学問の自由	六八八
第十五項	自治及び学問の自由の享有	六八八
第十二條	大学本部の職員	六八八
第十六項	訴訟手続の免除等の特権及び免除	六八八
第十七項	大学の学長の特権及び免除	六九〇
第十八項	大学本部の職員の任命に関する通告	六九〇
第十三條	大学のための任務を行う専門家	六九一
第十九項	大学のための任務を行う専門家の任務遂行上の特権及び免除	六九一
第二十項	大学のための任務を行う専門家の任命に関する通告	六九二
第十四條	紛争の解決	六九三
第二十一項	私法的紛争等に関する解決規定	六九三
第二十二項	協定の解釈又は適用に関する紛争の仲裁裁判所への付託	六九三
第十五條	一般規定	六九四
第二十三項	日本国の法令の遵守	六九四
第二十四項	特権又は免除の濫用防止等	六九四
第二十五項	特権及び免除の放棄	六九五
第二十六項	滞在の権利の濫用者に対する政府の退去要求	六九五
第二十七項	この協定の範囲内に属する者に対する規定の適用	六九六
第二十八項	この協定の規定と一般条約の規定との関係	六九六
国連大学本部協定		

国連大学本部協定

六七八

第二十九項	協定の修正	六九六
第三十項	補足取極の締結	六九六
第三十一項	協定の失効事由	六九七
第三十二項	効力発生	六九七
末文		六九七
○国連大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定第十三項に関する交換公文		六九九
日本側書簡		六九九
協定第十三項に関する了解の確認		六九九
国際連合側書簡		七〇一
協定第十三項に関する了解の確認		七〇一
○合意された議事録		七〇三
協定第十五項に関する了解		七〇三

国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定

国際連合及び日本国は、  
国際連合総会が、千九百七十二年十二月十一日の決議第二千九百五十一号（第二十七回会期）により国際連合大学を設立することを決定し、並びに千九百七十三年十二月六日の決議第三千八十一号（第二十八回会期）により国際連合大学憲章を採択し及び国際連合大学の大学センターを日本国の東京首都圏内に置くことを決定したことを考慮し、

国際連合大学が、国際連合の機関として、国際連合憲章及び国際連合の特権及び免除に関する条約によつて与えられる利益並びに国際連合大学憲章によつて与えられる利益を享受することを考慮し、

国際連合大学本部の所在地に関する決定の結果生ずることがある問題であつて前記の文書では十分に取扱われていないものについて規定するため、これらの文書を補足する協定を締結することが望ましいことを考慮し、

国際連合大学が、日本国におけるその本部において、日本国の政府及び国民と協力しかつ協調して、その責務を十分かつ効果的に遂行し及びその目的を達成することができるようにするため、

次のとおり協定した。

第一条 定義

国連大学本部協定

AGREEMENT BETWEEN THE UNITED NATIONS  
AND JAPAN REGARDING THE HEADQUARTERS OF  
THE UNITED NATIONS UNIVERSITY

The United Nations and Japan.

Considering that the General Assembly of the United Nations, by resolution 2931 (XXVII) of 11 December 1972, decided to establish the United Nations University and by resolution 3081 (XXVII) of 6 December 1973, adopted the Charter of the United Nations University and decided that the University Centre of the United Nations University should be located in the Tokyo metropolitan area in Japan;

Considering that the United Nations University, as an organ of the United Nations, enjoys the benefits provided by the Charter of the United Nations and by the Convention on the Privileges and Immunities of the United Nations, and also those provided by the Charter of the United Nations University;

Considering that it is desirable to conclude an agreement, complementary to the foregoing instruments, with a view to regulating questions not fully dealt with therein which may arise as a result of the decision regarding the location of the headquarters of the United Nations University;

With a view to enabling the United Nations University at its headquarters in Japan to discharge fully and effectively its responsibilities and fulfill its purposes in co-operation and harmony with the Government and people of Japan;

Have agreed as follows:

Article I

DEFINITIONS

用語の定義

第一項

この協定の適用上、

- (a) 「大学」とは、国際連合大学をいう。
- (b) 「政府」とは、日本国政府をいう。

- (c) 「学長」とは、大学の学長、又は、大学の学長が不在の場合には、大学本部に関し大学の学長に代わつて行動するよう指名された他の職員で、大学の学長若しくは国際連合事務総長により政府に通告されたものをいう。

- (d) 「本部施設」とは、次のものをいう。

- (i) 大学本部の目的のためにのみ使用される建物又はその一部及びこれに附属する土地
- (ii) この協定又は政府との補足取極に従つて追加的又は、時的に(i)の建物又は土地に含まれる他の建物又は土地
- (e) 「一般条約」とは、千九百四十六年二月十三日に国際連合総会によつて承認された国際連合の特権及び免除に関する条約をいう。

本部施設

第二条 本部施設

第二項

- 1 大学の恒久的な本部は、本部施設にあるものとし、次の場合を除くほか、本部施設から全体的又は部分的に撤去されることはない。

本部施設  
の不撤去  
及び大学  
の会合

Section 1

For the purpose of this Agreement:

- (a) "the University" means the United Nations University;
- (b) "the Government" means the Government of Japan;
- (c) "the Rector" means the Rector of the University, or in his absence any other official designated to act on his behalf in respect of the University headquarters, to be notified to the Government by the Rector or by the Secretary-General of the United Nations;
- (d) "the headquarters seat" means:

- (i) the building or buildings, or a part thereof, and any land ancillary thereto used exclusively for the purposes of the University headquarters; and
- (ii) any other building or land which may be additionally or temporarily included therein in accordance with this Agreement or by supplemental agreement with the Government;

- (e) "General Convention" means the Convention on the Privileges and Immunities of the United Nations approved by the General Assembly of the United Nations on 15 February 1946.

Article II

THE HEAD-QUARTERS SEAT

Section 2

- 1. The permanent headquarters of the University shall be in the headquarters seat, and shall not be removed therefrom, in whole or in part, unless:

### 第三項

- (a) 国際連合が撤去を決定する場合。もつとも、日本国内の新しい本部施設への移転は、政府の同意を得た場合のみ行われる。
  - (b) 大学が東京首都圏内の新しい本部施設への移転を要請し、かつ、政府が同意する場合
  - (c) 政府が、東京首都圏内の新しい本部施設への移転を大学に要請する場合又は国際連合の同意を得て東京首都圏外で日本国内の新しい本部施設への移転を大学に要請する場合において、大学本部のために十分に適合した施設を提供し及び移転の費用を支払うとき。
- 2 大学により招集される会合（大学の研究研修センター又は研究研修計画により招集される会合を除く。）のために政府の同意を得て排他的に使用される日本国内の建物又はその一部は、第六項の規定の適用については、一時的に本部施設の一部とみなされる。
- 第三項
- 1 政府は、大学との協議の後自己が決定するところに従い、当初必要な設備及び備品とともに、暫定的な本部施設を大学の用に供する。
  - 2 その後、政府は、東京首都圏内における大学本部の設置に対する寄与に関する自己の申出の限度内で、恒久的な本部施設を大学の用に供する。
  - 3 大学は、本部施設並びに本部施設内の設備及び備品の維持及び妥当な管理並びに第八項にいう公益事業及び公共の役務について責任を有する。政府は、本部施設の構造的破
- 国連大学本部協定

- (a) the United Nations so decides, provided that transfer to a new headquarters seat in Japan shall take place only with the agreement of the Government; or
  - (b) the University requests to transfer to a new headquarters seat in the Tokyo metropolitan area, and the Government agrees; or
  - (c) the Government requests the University to transfer to a new headquarters seat in the Tokyo metropolitan area, or with the agreement of the United Nations to a new headquarters seat in Japan outside the Tokyo metropolitan area, provides fully suitable premises for the University headquarters, and defrays the costs of the transfer.
2. Any building, or a part thereof, in Japan which may be used with the concurrence of the Government exclusively for meetings convened by the University, other than meetings convened by the research and training centres or programmes of the University, shall be temporarily regarded as a part of the headquarters seat as far as section 6 is concerned.
- Section 2.
1. The Government shall make available to the University a provisional headquarters seat for its use, with the furnishings and equipment initially necessary, as determined by the Government after consultation with the University.
  2. Subsequently, the Government shall make available to the University a permanent headquarters seat for its use, within the limits of its offer regarding its contribution towards the establishment of the University headquarters in the Tokyo metropolitan area.
  3. The University shall be responsible for the maintenance and reasonable care of the headquarters seat and its furnishings and equipment and for the public utilities and services provided under section 8 of this Agreement. The Government shall be responsible

## 国連大学本部協定

損の予防及び修繕について責任を有する。

### 第四項

大学が日本国に設置する研究研修センター又は研究研修計画に関連する事項及び日本国にある研究又は研修のためのセンター又は計画で大学のわく内に組み込まれるものに関連する事項は、政府と大学との間の別個の取極で取り扱う研究センター又は計画は、政府と大学との間の別個の取極で取り扱う。

### 第三条 本部施設の法的地位

### 第五項

本部施設は、この協定に定めるところに従い、大学の管理及び権限の下に置かれる。

### 第六項

1 本部施設は、不可侵とする。日本国の官憲又は日本国で公権力行使するその他の者は、学長の同意又は要請がある場合を除くほか、公務の遂行のため本部施設内に立ち入ってはならない。ただし、迅速な防護措置を要する火災その他の緊急事件の場合又はそのような緊急事件が本部施設内で既に発生し若しくは発生しようとしていると日本国の当局が信ずるに足りる合理的な理由がある場合には、学長の同意があつたものとみなす。

2 大学は、日本国の法律に基づく逮捕を逃れている者、他国への引渡しのため政府が求めている逃亡犯罪人又は訴訟に関する送達を回避しようとしている者が本部施設を避難所として使用することを防止する。

## 六八二

for prevention and repair of structural damage of the headquarters seat.

### Section 4

Matters related to any research and training centre or programme which the University may set up in Japan and to any such centre or programme located in Japan which may be incorporated into the University's framework shall be dealt with in a separate agreement between the Government and the University.

### Article III

#### LEGAL STATUS OF THE HEADQUARTERS SEAT

### Section 5

The headquarters seat shall be under the control and authority of the University as provided in this Agreement.

### Section 6

1. The headquarters seat shall be inviolable. No officer or official of Japan, or other person exercising any public authority within Japan, shall enter the headquarters seat to perform any official duties therein except with the consent of the Rector, or at his request. The consent of the Rector shall, however, be assumed in case of fire or other emergency requiring prompt protective action, or in the event that the Japanese authorities have reasonable cause to believe that such an emergency has occurred or is about to occur in the headquarters seat.

2. The University shall prevent the headquarters seat from being used as a refuge by persons who are avoiding arrest under any law of Japan, who are required by the Government for extradition to another country, or who are endeavouring to avoid service of legal process.



本部施設  
の保護

政府の保  
護措置

本部施設  
に対する  
公共サー  
ビス

公共サー  
ビスの提  
供に關す  
る政府の  
努力義務

通信及び  
出版

公用通信  
の特権及  
び免除

#### 第四条 本部施設の保護

##### 第七項

政府は、本部施設内に許可なく立ち入ろうとしている者若しくは集団又はその近傍で本部施設内の静穏を意図的に妨げる者若しくは集団から本部施設を保護するため、日本国の法令の範囲内で最善の努力を払う。

#### 第五条 本部施設に対する公共サービス

##### 第八項

1 政府は、大学と協議して、必要な公益事業及び公共の役務（列挙を理由に限定されることなく、電気、水道、下水道、ガス、郵便、電話、電信、地域交通、排水、ごみの収集、消防等の事業及び役務をいう。）が本部施設に対して提供され並びにその公益事業及び公共の役務が衡平な条件で提供されることを確保するため、最善の努力を払う。

2 学長は、関係公共サービス機関が本部施設内の関係設備、導管、本管及び下水溝の検査、修繕、維持、改築及び移転を行うことができるようにするため、当該機関の要請に基づき適当な措置をとる。

#### 第六条 通信及び出版

##### 第九項

1 大学又は本部施設内にある大学の職員あてのすべての公

国連大学本部協定

#### Article IV

##### PROTECTION OF THE HEADQUARTERS SEAT

##### Section 2

The Government shall use its best efforts within the laws and regulations of Japan to protect the headquarters seat against any person or group of persons attempting unauthorized entry into or purposely disturbing the tranquility of the headquarters seat in its immediate vicinity.

#### Article V

##### PUBLIC SERVICES IN THE HEADQUARTERS SEAT

##### Section 8

1. The Government shall use its best efforts, in consultation with the University, to ensure that the headquarters seat shall be supplied with the necessary public utilities and services, including, without limitation by reason of this enumeration, electricity, water, sewerage, gas, post, telephone, telegraph, local transportation, drainage, collection of refuse and fire protection, and that such public utilities and services shall be supplied on equitable terms.

2. The Rector shall, upon request, make suitable arrangements to enable the appropriate public service bodies to inspect, repair, maintain, reconstruct and relocate utilities, conduits, mains and sewers within the headquarters seat.

#### Article VI

##### COMMUNICATIONS AND PUBLICATIONS

##### Section 9

1. All official communications directed to the

用通信及び大学が発するすべての公用通信については、伝達の手段又は形態のいかなを問わず、検閲その他いかなる形態の妨害又は秘密の侵害をも行つてはならない。公用のものと思われる通信が、許容されない物又は危険な物を含んでいると信ずるに足りる合理的な理由がある場合には、その通信は、大学の代表者の立会いの下に日本国の当局が開くことができる。もつとも、それらの物が急迫した物理的な危険を及ぼすと認められる場合には、大学の代表者の立会いを要しない。

2 大学は、国際連合の機関、国際連合の専門機関、国際原子力機関、大学の研究研修センター及び研究研修計画並びに第十三条に規定する大学のための任務を行う専門家との通信に際し、暗号を使用し並びに公用信書その他の公用通信を伝書使又は封印袋により発送し及び接受する権利を有する。伝書使及び封印袋は、外交伝書使及び外交封印袋と同一の特権及び免除を享有する。

# 第十項

1 政府は、大学が、その目的を達成するため、公的な性格を有すると認める刊行物を日本国内において自由に出版する権利及び大学が日本国内において放送されるよう取り計らう公的な番組の内容を政府の干渉を受けることなく決定する権利を認める。

2 もつとも、大学は、知的所有権に関する日本国の法令及び日本国が締約国である国際条約を尊重するものと了解される。

University, or to any of its personnel at the headquarters, or to any of its personnel at the headquarters, and all outward official communications of the University, by whatever means or in whatever form transmitted, shall be immune from censorship and from any other form of interception or interference with their privacy. Should there be reasonable cause to believe that apparently official communications contain impermissible or dangerous materials, they may be opened by the Japanese authorities in the presence of a representative of the University, provided, however, that no such representative need be present if those materials appear to present an immediate physical danger.

2. In communicating with organs of the United Nations, its specialized agencies, the International Atomic Energy Agency, the research and training centres and programmes of the University, and the experts on missions for the University referred to in article XIII, the University shall have the right to use codes and to dispatch and receive official correspondence and other official communications by courier or in sealed bags, which shall have the same privileges and immunities as diplomatic couriers and bags.

## Section 10

1. The Government recognizes the right of the University freely to publish within Japan, in the fulfilment of its purpose, such publications as the University considers to be of an official character, and the right of the University to determine without interference by the Government the content of any official broadcast programme which it may arrange to be broadcasted in Japan.

2. It is, however, understood that the University shall respect the laws and regulations of Japan and the international conventions to which Japan is a party, relating to intellectual property.

## 第七条 課税の免除

## 第十一項

- 1 大学及びその資産、収入その他の財産は、
- (a) すべての直接税を免除される。もつとも、大学は、事実上公益事業の使用料にすぎない税の免除は要求しないものと了解される。

(b) 大学がその公用のために輸入し又は輸出する物品に関しては、関税並びに輸入及び輸出に対する禁止及び制限を免除される。もつとも、この免除を受けて輸入した物品は、政府と合意した条件によるものでなければ、日本国内では売却しないものと了解される。

(c) 大学の刊行物に関しては、関税並びに輸入及び輸出に対する禁止及び制限を免除される。

## 2

大学は、原則として、消費税並びに動産及び不動産の売却に対する税でその価格の一部をなすものの免除を要求しない。もつとも、政府は、大学が公用のために財産の重要な購入を行うに際しこれに前記の税を課し又は課することができるときには、可能な限り税額の減免又は還付のため適当な行政的措施をとるものとする。

## 第八条 財政的便益

## 第十二項

- 1 大学は、財政上のいかなる種類の管理、規制又はモラト

国連大学本部協定

Article VIIFREEDOM FROM TAXATIONSection 11

1. The University, its assets, income and other property shall be:

(a) exempt from all direct taxes; it is understood, however, that the University will not claim exemption from taxes which are, in fact, no more than charges for public utility services;

(b) exempt from customs duties and prohibitions and restrictions on imports and exports in respect of articles imported or exported by the University for its official use. It is understood, however, that articles imported under such exemption will not be sold in Japan except under conditions agreed with the Government;

(c) exempt from customs duties and prohibitions and restrictions on imports and exports in respect of its publications.

2. While the University will not, as a general rule, claim exemption from excise duties and from taxes on the sale of movable and immovable property which form part of the price to be paid, nevertheless when the University is making important purchases for official use of property on which such duties and taxes have been charged or are chargeable, the Government will, whenever possible, make appropriate administrative arrangements for the remission or return of the amount of duty or tax.

Article VIIIFINANCIAL FACILITIESSection 12

1. Without being restricted by financial controls,

## 国連大学本部協定

通貨の移  
動等

- リウムによつても制限されることなく、
- (a) 基金、金又はいかなる通貨をも保持し、及びいかなる通貨の勘定をも設けることができる。
- (b) 基金、金又は通貨を日本国から他国へ若しくは他国から日本国へ又は日本国内において移動し、及びその保持する通貨を他の通貨と交換することができる。
- 2 大学は、1の規定に基づく権利を行使するに当たつては、政府の申入れに対して、大学の利益を害することなくこの申入れを実施することができると考える限り、妥当な考慮を払わなければならない。

社会保  
障

## 第九条 社会保障

### 第十三項

強制的拠  
出の免除  
、大学の  
要請に対  
する政府  
の措置等

- 1 大学は、日本国の社会保障制度に対するすべての強制的な拠出を免除されるものとし、また、大学本部の職員は、政府により、日本国の社会保障制度に参加することを要請されることはない。
- 2 政府は、大学が要請する場合には、政府と大学との間で合意する条件の下で、大学による社会保障の適用を受けていない大学本部の職員が日本国の社会保障制度に参加することができるよう必要な措置をとる。大学は、政府と大学との間で合意する条件の下で、国際連合合同職員年金基金に参加しておらず又は日本国の法令の下で与えられる保護と少なくとも同等の社会保障の保護を大学によつて与えられていない大学本部の現地雇用の職員が日本国の社会保障

regulations or moratoria of any kind,

- (a) the University may hold funds, gold or currency of any kind and operate accounts in any currency;
- (b) the University shall be free to transfer its funds, gold or currency from or to Japan or within Japan and to convert any currency held by it into any other currency.
2. In exercising its rights under the preceding paragraph, the University shall pay due regard to any representations made by the Government in so far as it is considered that effect can be given to such representations without detriment to the interests of the University.

## Article IX

### SOCIAL SECURITY

#### Section 13

1. The University shall be exempt from all compulsory contributions to, and the personnel of the University headquarters shall not be required by the Government to participate in, any social security scheme of Japan.
2. The Government shall, under conditions to be agreed upon, make such provision as may be necessary to enable any member of the personnel of the University headquarters who is not afforded social security coverage by the University to participate, if the University so requests, in any social security scheme of Japan. The University shall, in so far as possible, arrange, under conditions to be agreed upon, for the participation in the Japanese social security system of those locally recruited members of the personnel of its headquarters who do not participate in the United Nations Joint Staff Pension Fund or to whom the University does not grant social security protection at least equivalent

制度に参加することができるよう、可能な限り取り計らう。

第十条 通過及び滞在

第十四項

1 政府は、次の(a)から(f)までに掲げる者が、大学に関連する公務のためその配偶者及び扶養親族とともに、日本国の領域へ入国し、その領域に滞在し及びその領域を通過することを容易にするために必要な措置をとる。

- (a) 大学理事会及びその補助機関の構成員
- (b) 学長その他の大学本部の職員
- (c) 学長が設置する諮問機関の構成員
- (d) 国際連合、国際連合教育科学文化機関その他の専門機関又は国際原子力機関の職員で、大学に配属されたもの又は大学との間に公務を有するもの
- (e) 大学の研究研修センター及び研究研修計画の職員、提携団体の職員並びに大学の事業計画に参加する者
- (f) 他の機関又は団体の代表者その他の者で大学が公務のため本部施設に招請したもの

大学は、(a)から(f)までに掲げる者並びにその配偶者及び

国連大学本部協定

to that offered under the laws and regulations of Japan.

Article X

TRANSIT AND RESIDENCE

Section 14

1. The Government shall take all necessary measures to facilitate the entry into, sojourn in and transit through Japanese territory of the persons listed below and their spouses and relatives dependent on them, for the purposes of official business of such persons related to the University:

- (a) members of the University Council and its subsidiary bodies;
- (b) the Rector and other personnel of the University headquarters;
- (c) members of advisory bodies set up by the Rector;
- (d) officials of the United Nations, of the United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization, of another of the specialized agencies or of the International Atomic Energy Agency, attached to the University or having official business with it;
- (e) personnel of the research and training centres and programmes of the University, personnel of associated institutions, and persons participating in the programmes of the University;
- (f) representatives of other organizations or institutions or other persons invited by the University to the headquarters seat on official business.

The University shall notify the Government of the names of such persons and their spouses and relatives

## 国連大学本部協定

六八八

扶養親族の氏名を、これらの者に関するその他の関連資料とともに、政府に通告する。この1に規定する便益には、この1に規定する者のために必要とされるときは、無料であつてできる限り速やかに査証を発給することを含む。

- 2 1に掲げる者が大学の目的及び機能を果たすために公的資格で行つたいかなる行動も、その者が日本国の領域へ入国し若しくはその領域から出国することを妨げ又はその者がその領域から退去することを求める理由とはならない。
- 3 この項の規定は、この項に規定する取扱いを求める者が1に規定する者に該当することを立証するための妥当な証拠を要求することを妨げるものではない。

## 第十一条 学問の自由

### 第十五項

大学は、国際連合大学憲章に定めるとおり、国際連合のわく内において自治を享有し、また、その機能の遂行のために割り当てられた財源の使用について自由に決定する。大学は、その目的の達成に必要な学問の自由、特に、研究及び研修の主題及び方法の選定、大学の活動に参加する個人及び団体の選択並びに表現の自由に関するものを享有するものとする。

## 第十二条 大学本部の職員

### 第十六項

- 1 国際連合の職員である大学本部の職員(c)及び(e)の場合

大学本部  
の職員  
の訴訟手続  
の免除等  
の特権及

dependent on them, together with other relevant data regarding them. The facilities provided for in this paragraph include granting of visas without charge and as promptly as possible, where required for persons referred to in this paragraph.

2. No act performed by any person referred to in paragraph 1 in his official capacity for the purposes and functions of the University shall constitute a reason for preventing his entry into or departure from the territory of Japan or for requiring him to leave such territory.

3. This section shall not prevent the requirement of reasonable evidence to establish that persons claiming the treatment provided for in this section come within the classes described in paragraph 1.

### Article XI

#### ACADEMIC FREEDOM

### Section 15

As provided for in the Charter of the United Nations University, the University enjoys autonomy within the framework of the United Nations and decides freely on the use of the financial resources allocated for the execution of its functions. It shall enjoy the academic freedom required for the achievement of its objectives, with particular reference to the choice of subjects and methods of research and training, the selection of persons and institutions to share in its tasks, and freedom of expression.

### Article XII

#### PERSONNEL OF THE UNIVERSITY HEADQUARTERS

### Section 16

1. The personnel of the University headquarters

にあつては、その者並びにその配偶者及び扶養親族）は、次の特権及び免除を享有する。

- (a) 公的資格で行つた口頭又は書面による陳述及びすべての行動に関する訴訟手続の免除。この免除は、その者が大学本部の職員でなくなつた場合にも、存続する。
  - (b) 大学が支払つた給料及び手当に対する課税の免除
  - (c) 出入国制限及び外国人登録の免除
  - (d) 為替の便益に関して、政府に派遣されている外交使節団に属する外交官で自己の地位と同等のものに与えられる特権と同一の特権
  - (e) 国際的危機の場合に外交使節に与えられる帰国の便益と同一の帰国の便益
  - (f) 日本国で最初にその地位に就く際に家具及び携帯品を無税で輸入する権利
- 2 1に掲げる特権及び免除のほか、国際連合の職員である大学本部の職員（D-1の等級以上の等級を有する者に限る。）であつて、日本国民でなく、かつ、日本国に通常居住していないものに関しては、
- (a) 政府は、当該職員に対し、三年ごとに一台の自動車並びに合理的な量の食料、飲料（アルコール飲料を含む）、タバコ及び衣類を、個人的な使用のため、関税の免除を受けて輸入する権利を与える。
  - (b) 何らかの形式の課税上の取扱いが居住を条件とする場

国連大学本部協定

who are officials of the United Nations shall enjoy the following privileges and immunities:

- (a) immunity from legal process in respect of words spoken or written and all acts performed by them in their official capacity, such immunity to continue notwithstanding that the persons concerned may have ceased to be personnel of the University headquarters;
  - (b) exemption from taxation on the salaries and emoluments paid to them by the University;
  - (c) exemption, together with their spouses and relatives dependent on them, from immigration restrictions and alien registration;
  - (d) the same privileges in respect of exchange facilities as are accorded to the officials of comparable ranks forming part of diplomatic missions to the Government;
  - (e) the same repatriation facilities, together with their spouses and relatives dependent on them, in time of international crisis as diplomatic envoys; and
  - (f) the right to import free of duty their furniture and effects at the time of first taking up their post in Japan.
2. In addition to the privileges and immunities specified in paragraph 1, and with respect to the personnel of the University headquarters who are officials of the United Nations, who serve at the level of D-1 or above and who are not nationals of or permanently resident in Japan:
- (a) The Government shall accord such personnel the right to import, for personal use, free of customs duties one automobile every three years, and reasonable quantities of foodstuffs, beverages including alcoholic beverages, tobacco and clothing.
  - (b) Where the incidence of any form of taxation

## 国連大学本部協定

合には、当該職員がその任務の遂行のため日本国に滞在する期間は、居住期間と認めない。

(c) 当該職員が取得し、所有し及び使用する自動車並びに当該自動車により消費される揮発油について課される税であつて政府と大学との間で合意するものは、減免されるものとし、このため、政府は、適当な行政的措置をとるものとする。

## 第十七項

前項に定める特権及び免除のほか、学長は、日本国民でなく、かつ、日本国に通常居住していない場合には、自己、配偶者及び未成年の子に関して、国際法に従つて外交使節に与えられる特権、免除及び便益を与えられる。

## 第十八項

1 大学は、大学本部の職員の任命が行われた場合には、当該職員の氏名並びに日本国に入国するその配偶者及び扶養親族の氏名並びに大学本部における当該職員の等級及び地位を、当該職員が国際連合の職員であるかどうかに関する陳述並びに当該職員に関するその他の関連資料並びに日本国に入国するその配偶者及び扶養親族に関するその他の関連資料とともに、個別にかつ遅滞なく、政府に通告する。大学は、大学本部の職員に任命された者が大学本部の職員でなくなつた場合又は国際連合の職員でなくなつた場合には、当該職員でなくなつた日並びにその者並びにその配偶者及び扶養親族が日本国から出国する日を、同様に、政府に通告する。

depends upon residence, periods during which such personnel are present in Japan for the discharge of their duties shall not be considered as periods of residence.

(c) Those taxes levied in respect of automobiles acquired and owned by and for the use of such personnel and those levied on gasoline consumed for such automobiles, which shall be agreed upon between the Government and the University, shall be remitted and, for this purpose, the Government shall make appropriate administrative arrangements.

## Section 17

In addition to the privileges and immunities specified in section 16, the Rector, if he is not a national of or permanently resident in Japan, shall be accorded in respect of himself, his spouse and minor children, the privileges and immunities, exemptions and facilities accorded to diplomatic envoys, in accordance with international law.

## Section 18

1. When a person has been appointed as personnel of the University headquarters, the University shall in each case and without delay notify the Government of the names of the person and his spouse and relatives dependent on him who are coming to Japan, and his grade and post in the University headquarters, together with a statement whether or not the person is an official of the United Nations, and other relevant data regarding such person and his spouse and relatives dependent on him who are coming to Japan. The University shall likewise notify the Government, when a person so appointed ceases to be personnel of the University headquarters or an official of the United Nations, of the date of the cessation and the date of departure from Japan of such person and his spouse and relatives dependent on him.



- 2 政府は、いかなる者に対しても、大学本部の職員の内任について通告を受けるまでは、この協定により大学本部の職員並びにその配偶者及び扶養親族に与えられる特権及び免除を与えることを義務づけられない。
- 3 政府は、この条の規定の範囲内に属する者にその写真を添付した身分証明書を交付する。この証明書は、すべての日本国の当局との関係において身分を証明するために使用される。

### 第十三条 大学のための任務を行う専門家

#### 第十九項

大学のための任務を遂行する専門家（前条の規定の範囲内に属する大学本部の職員を除く。）は、その任務に関連する旅行に費やす時間を含めて、任務の期間中、任務を独立して遂行するために必要な特権及び免除を与えられる。この専門家（e）の場合にあつては、その者並びにその配偶者及び扶養親族）は、特に、次の特権及び免除を与えられる。

- (a) 身柄の逮捕又は抑留及び手荷物の押収の免除
- (b) 任務の遂行中にその者が行つた口頭又は書面による陳述及び行動に関するあらゆる種類の訴訟手続の免除。この訴訟手続の免除は、その者が大学の任務に従事しなくなった場合にも、引き続き与えなければならない。
- (c) すべての書類、文書その他の記録物件の不可侵

国連大学本部協定

2. The Government shall not be obligated to extend to any person the privileges and immunities provided by this Agreement for the personnel of the University headquarters or their spouses and relatives dependent on them until the Government has been notified of the appointment of such personnel.

3. The Government shall furnish persons within the scope of this article with an identification card bearing the photograph of the holder. This card shall serve to identify the holder in relation to all Japanese authorities.

#### Article XIII

#### EXEMPTS ON MISSIONS FOR THE UNIVERSITY

##### Section 19

Experts (other than personnel of the University headquarters coming within the scope of article XII) performing missions for the University shall be accorded such privileges and immunities as are necessary for the independent exercise of their functions during the period of their missions, including the time spent on journeys in connexion with their missions. In particular they shall be accorded:

- (a) immunity from personal arrest or detention and from seizure of their personal baggage;
- (b) in respect of words spoken or written and acts done by them in the course of the performance of their missions, immunity from legal process of every kind. This immunity from legal process shall continue to be accorded notwithstanding that the persons concerned are no longer employed on missions for the University;
- (c) inviolability for all papers, documents and other recording materials;